

# 出合い in 杉村病院

地域包括支援センターを  
開設します



医療法人 杉村会  
理事長 杉村邦明



平成十八年四月一日より、熊本市の委託を受けて医療法人杉村会が、地域包括支援センターを熊本市平田町に開設することが決まりました。

地域包括支援センターとは、今年四月の介護保険制度の改正で創設される介護予防の拠点であり、介護予防重視を打ち出した新制度の核となる施設です。

昨年十二月に受託法人の募集が行われ、五十件を超える応募の中から、二十六の法人が選定を受けました。選定された法人は、医療法人・財団法人・社会福祉法人・NPO法人など様々です。

熊本市の場合、市内を二十六の生活圏域に分け、各生活圏域に一つの包括センターを

設置します。杉村会が担当する圏域は、南①(向山・日吉・日吉東校区)圏域。長六橋から南下して南九州コカコーラ辺りまでの国道三号線沿いの地域になります。事務所は南警察署から国道三号線を五百メートルほど南下したところを予定しています。

地域包括支援センターの業務内容について簡単に紹介いたします。センターが受け付けるのは、主に在宅介護を中心とする、あらゆる問題です。社会福祉士・保健師等・主任ケアマネージャーの三職種が専任で業務にあたり、①虚弱な高齢者が要介護状態になるのを防ぐ介護予防マネージメント業務  
②高齢者や家族への総合的な相談・支援  
③高齢者への虐待防止など権利擁護事業  
④困難事例の対応などケアマネージャーの支援  
これらを一体的に実施します。



具体的な例を挙げてみましょう。高齢者を介護する家族が介護に疲れて支援を求めてきた場合、センターが相談を受け適切なサービスを紹介する。高齢者に対する介護家族の虐待をそれ以外の家族や訪問者などが見つけた場合、センターが相談を受け必要な措置を講じ、さらには高齢者の権利擁護の観点から弁護士や司法書士などの専門家を紹介する。等々多岐にわたっています。

このように地域包括支援センターは、地域ネットワークを利用して多角的な支援を行うことから、介護保険サービスや介護の悩み・虐待などをめぐり、在宅の高齢者とその家族にとって大切な「駆け込み先」として期待されています。センターのスタッフは、岩

佐可美さん(保健師等)・山田徳子さん(主任ケアマネージャー)・島津洋子さん(社会福祉士)・原武孝二さん(事務・総務責任者)の四名体制でスタート予定です。

最後になりましたが、センターの事務所選定については短期間で決定しなければならず、なかなか良い場所が無く困っていましたが、アデルカーズ株式会社の池永龍馬会長様 並びに成正社長様にご尽力頂き、無事選定することが出来たこと、御二方に紙面にて御礼申し上げます。





## 新入職員紹介

十一月十五日以降に入られた職員の方の紹介です。

江藤 美奈子さん

准看護師 6病棟勤務



渡辺 洋子さん

准看護師 3病棟勤務



看護師には両親の希望でなり

ましたが、祖母や長い闘病生活を送った母と接したことで、「なつてよかった」と感じるようになりました。★今は特にお年寄りの方の力になりたいという気持ちが強いです。接することが好きなので。★三十年以上仕事を続けてきて、言葉かけの一つ一つが大切であることを実感しています。

よろしくお願いします！

患者さんの家族の方から感謝の言葉を頂く時、改めてこの仕事のやりがいを感じます。★最近の趣味はインターネット。無料で映画を見たり、ショッピングしたり：と活用術がたくさんあります。★山鹿灯籠で有名な山鹿出身です。

## 祝★BABY誕生

十月に三女が誕生しました。長女・次女と同じく字画のいい名前をということで「映璃」と名付けました。なので三人娘のわりに名前に関連性がないんです。女が四人になり、ますますにぎやかな我が家です！

看護師は幼い頃から

の憧れでした。これまでは皮膚科に勤務していたので、内科・外科は自分にとって新しい分野になります。★ご飯を食べながら、お茶を飲みながら：みんなと話することが一番のストレス解消法です。★楽しみと言えば、二十一歳の娘と買い物や旅行をする事です。

久保 いつきさん

准看護師 5病棟勤務



松岡 幸子さん

准看護師 3病棟勤務

娘・映璃（えり）ちゃん

平成十七年十月十七日生まれ



## 医療安全委員会便り

医療安全委員会は、患者様が安心して安全な医療を受けられる環境を整える為に発足しました。平成十二年十二月より、吉村院長のリーダーシップのもと、全職員が一丸となって事故防止に努めております。

具体的には、転倒・転落事故防止や内服・注射の間違い等を未然に防ぐ為のマニュアル作成、安全管理の為の研修等です。

また、平成十六年五月から、院内事故防止対策巡回チーム（ACT）を設置し、毎月一回院内を巡回。危険箇所のチェックや安全に対する啓蒙などを行い、現場の状況を委員会に報告しながら改善の糸口にする等の取り組みを行っています。

医療安全の取り組みは、医療職のみならず受付・事務にも及び、杉村病院のひとり一人が日夜努力していますので、今後ともご協力お願いいたします。

## RRK女子駅伝チーム出場

二月十一日に行われたRRK女子駅伝に、杉村病院から2チーム出場！

それぞれ忙しい中の調整でしたが、楽しくたすきをリレーしました。レース後はピククばんばんで焼肉をお腹いっぱい食べ、また来年も頑張ろう！という盛り上がりの中解散しました。

今年の十二月の合同練習に向けて、それぞれ個人的にレースで調子を上げていこうね☆という約束でしたが：皆大丈夫かな？





# 栄養部で！す

入院中の楽しみでもある食事。

おいしい食事作りを日々研鑽しながら栄養部一丸となって頑張っています。

最近では、皆様に少しでも満足して頂けるよう、食材・形態・分量等、出来る限り個人対応を心掛けています。

調理作業は慌ただしくなりましたが、「食事が食べられるようになった」とのスタッフの声、患者様やご家族の方の喜びの声、これらが私どもの励みとなっております。

これからも、ご意見・ご要望など気軽に声をかけて下さい。

外来・入院患者様を対象に、栄養相談を行っています。糖尿病・肝疾患・心疾患・貧血・痛風・高脂血症の診断を受けられた方で、食事に不安をお持ちの方は、いつでもご相談下さい。

## 栄養相談

## スタッフ紹介 休日の過ごし方



清崎 佳代 (管理栄養士)  
年に三〜四回は家族ぐるみで友人たちとキャンプやスキーに行っています。平日の休日は、シヤラポア目指してテニスレッスン中です☆

## 高山 祐規子

(管理栄養士)



友人と放浪のドライブに出かけます。行った先で温泉に入るのが多いので、温泉セットは車に常備しています♪



椎葉 多美 (栄養士)

週末の休日は、子ども二人と近くのグラウンドに行ったり、野球やサッカーをして遊びます。(平日はあまり遊ぶ時間がないですね。)

## 熊谷 朱味 (調理師)



ランチや温泉の探訪、たまに映画鑑賞。最近見たのは、SAY URI、映画館から出てきた時気分は「チャン・ツイ」でした。



竹下 美和 (調理師)

自転車で近所の店を見て回りまです。家にいる時は趣味のボエムを書いて過ごします。



高倉 令佳 (調理師)

ドライブに行ったり冬ならスノーボードをしています。あと健康のために歩いたりしています。

## 村上 明香 (調理師)



お昼まで寝て、お昼からドライブに行ったり映画に行ったりしています。



富田 侑子 (調理師)

「脱・ペーパードライバー」この春から真のゴールド免許証になるよう、自動車学校のペーパードライバー講習に参加しようと思っています。

## 高木 千尋 (調理師)



土いじりが好きで、野菜や花を作っています。チューリップも芽が出ました♪無心でやっていると疲れもとれます。



宮本 良子 (調理師)

我が家のマリ(六歳の雄犬)と二時間くらい散歩に行ったり、ゆったりとした時間を過ごしています。

## 工藤 正美 (調理師)



朝は少しゆっくり。日頃出来ない家事をして、後は気晴らしのショッピングとペット(犬)の相手です。

## 栄養レシピ

### 団子汁



この時期においしい根菜類を豊富に使った団子汁。根菜類はお通じを良くする食物繊維、抵抗力を高めお肌もきれいになるビタミンCが豊富に含まれています。他にも筋肉の素となるタンパク質を含んだ鶏肉、カルシウムの吸収を良くするビタミンDを含んだ干し椎茸と一品の中にバランス良く入っています。当院は高齢の方が多いため、なめらかな歯切れ良くべたつかない団子の材料にも工夫しています。是非一度おためし下さい。

材料	1人分
味噌	15
だし汁	200
鶏もも	45
人参	15
大根	20
干し椎茸	30
文火芋	1個
白玉粉	27
小麦粉	78
薄力粉	12
牛乳	5

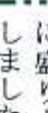
- ① 団子を作る。白玉粉をダメにならないよう少しずつこねる。
- ② ①の中にさつま芋ペースト・薄力粉を少しずつ混ぜ合わせ耳たぶくらいの固さに。ラップにくるみ室温で寝かせておく。
- ③ 大根・人参・椎茸は乱切り人文字は小口切り。
- ④ だし汁に③を入れ、柔らかくなったら鶏肉・里芋を加えて一煮立ちさせる。
- ⑤ 1/3量位の味噌を入れ②の団子を手でちぎって入れる。
- ⑥ 残りの味噌を入れ味を調える。

## バレーボール 同好会便り



国司 良子 (調理助手)  
用件がない時は昼寝を楽しみ、友人と温泉へ行き、たまの旅行が何よりの娯楽です。

## 堀江 時子 (調理助手)



愛犬マルが起こしてくる目覚めで始まり、一緒に散歩。部屋掃除、昼寝、チラスを見て安いものを買いあさり、特に百円ショップに行くのが好きです☆

昨年未のソフトバレー大会をきっかけに発足しました。出場までのわずかな練習時間で結果は：何と四十チーム中ベスト十五！思わぬ好成绩に盛り上がり、同好会が誕生しました。

まだまだ少数ですが、体を動かすことが大好きな者の集まりです。皆さんもストレス解消に、一緒に汗を流してみませんか？

(キャプテン 田口 八千代)



# まちなの名医紹介 第三回

医療法人 田中会 田中病院 理事長 田中 英一 先生

明治四十五年(1910年)に耳鼻咽喉科専門病院として開業されて以来九十年。現在三代目になられます田中英一先生にインタビューしました。

Q 明治四十五年といえまだ医業の専門性は低い時代だったと思いますが、その時期にあえて耳鼻咽喉科という専門性をしぼった病院を開業なさったのは何かお考えがあったのでしょうか

祖父はここに開業する前に数年(多分一〜二年)ドイツに留学しておられます。そこで耳鼻咽喉科の勉強をしておられますのでその影響が大きかったのではないかと思います。

Q そのころのドイツではすでに医師の専門化が進んでいたということでしょうか

はつきりとは分かりませんが、ドイツ留学の影響はあると思います。今の診療科はさらに気管・食道科が加わっています。

Q 気管・食道科は私の代になってからです。気管・食道学会もできていて、七〜八割は耳鼻咽喉科の医師です。気管・食道の病気を治療するのではなく、発声・嚥下障害の検査・診断を行います。機能的な障害がある場合、外科的に治せるものの適応を決めます。

Q 二十年以上前までは呑み込みが悪ければすぐに経管栄養ということでしたが、この十年程寝たきりを防ぐという意味でも、その前の段階で診断・治療できるものは治療するようになら変わってきています。



マスクが一番効果があると思います。今は立体裁断の良いマスクも出てますし、とにかく花粉を吸い込まないようにするこトです。それと自宅、特に寝室の窓

をこの一ヶ月位は開放しないこと。できれば寝室に空気清浄機を置いてずつと(二十四時間)回しておいて下さい。外出着等も持ち込んではいけません。花粉が入らない状態を作ること夜はぐっすり眠れます。

Q なるほど、よく分かりました。ところで毎日診療に追われていらっしゃる先生のストレス解消法を教えてくださいませんか

休みの日の昼間は遊ぶように心がけています。結構多趣味で：ゴルフ・ヨット・ラグビーなどをしていいます。ヨットはヨットレースを楽しんでいます。ラグビーは「熊惑」という四十歳以上のチームに所属しています。その他盆栽もやりますが最近はずぼりがちです。

Q ラグビーというところがとて体重の重そうな体型を連想しますが、先生はスマートでいらつしやいますね。

そうですね(笑)。ラグビーもいろんなポジションがありますからね。田中病院の医業理念に「私たちは常に自己研鑽を積み自分自身の人間性を高めサビスの質の向上を図ります」とあります。とても礼儀正しく、お優しく、そして休みの日は遊ぶように心がけているとおっしゃる田中先生のお言葉の中に、強い意志を感じました。

# 薬は一生やめられないの？

回答者 杉村病院 内科 白尾 友宏 医師

巷でよく「血圧の薬をのみ始めると、一生やめられんげな」というのを聞いたことがあると思います。なぜでしょう？

病気には、一時的なもので完全に治る病気と、一生治らない(付き合いかねばならない)病気の二種類があります。

「かぜ」や「食中毒」は、一時的な「治る病気」です。細菌やウイルスが原因のこれらの病気は、その細菌やウイルスをやっつけば完全に治ります。だから、かぜ薬や抗生物質などは、病気が治つたらもう要りません。

しかし、ほとんどの「高血圧」や「糖尿病」は「一生治らない病気」です。細菌やウイルスのような「取り除くことができる原因」が未だ見つかっていないので、原因を除去して完全に治す…ということができないのです。

血圧の薬をのみと血圧は下がりますが、それは「高血圧」が治つたのではなく、薬の力でいわば「重し」をかけて血圧が上がらないようにしているだけなので、時間がたつて薬の効き目が切れると「重し」がはずれてまた血圧が上がります。だから、薬の効き目が切れないように、毎日規則正しく薬をのみ続ける必要があります。つまり、これらの病気は「悪くならないようにうまくつきあつていく」言い方をかえると「病気をコントロールする」ことが大事なのです。



「血圧の薬を一生やめられない」と聞くと、何か麻薬中毒のような恐ろしいイメージを持つ人がありますが、そうではありません。近視は一生治らない病気で、眼鏡やコンタクトレンズを使えばものをはっきり見ることが出来ます。同様に、血圧や糖尿病の薬を毎日規則正しく使い続けることで、脳卒中や合併症(余病)にならないようにできるのです。だから、勝手に途中でやめたり、のんだりのまなかつたりしてはいけません。また、のみ忘れた時、後から忘れた分をまとのみしては絶対いけません。思わぬ事故のもとになります。

## 編集後記

初めて病院での取材をさせて頂きました。栄養部の皆さんが料理一つを作るのにも衛生面や患者さんの体調を気遣って取り組んでいる姿、看護士さんたちが臨機応変に対応している姿、受け付けで丁寧な対応を心がけている姿…様々な人の姿に出会い、病院という場所は医師が治療をする場と出合えて、様々な役割を持った多くの人が支え合って成り立っている場所であることを改めて実感することができました。

花粉症と戦いながら仕上げた  
広報誌 第三号…  
できはいいかがでしょうか？

橋本 美甲子

